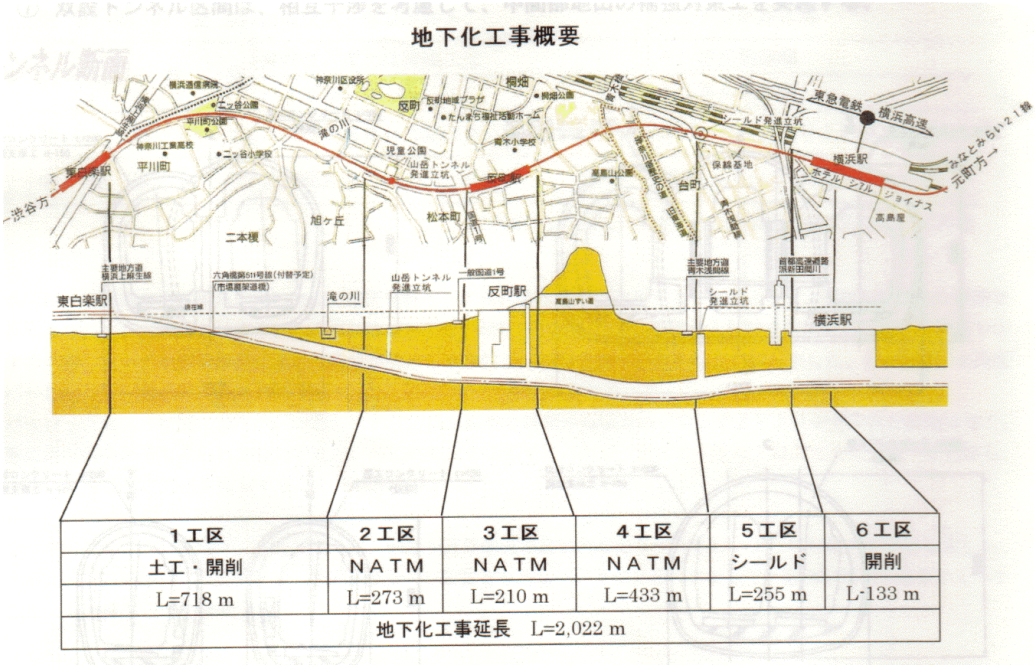
東 急 東 横 線 （東白楽～横浜駅）

施設管理者　　：東京急行電鉄㈱
施設所在地　　：横浜市東神奈川区桐畑 19-4
調査見学時期　　：平成 13 年 3 月 16 日
施設概要

東急東横線東白楽～横浜駅間の約 2km にわたる地下化工事は、平成 7 年から 15 年にかけて、開削、シールド、ＮＡＴＭを組み合わせて施工されている。

このうち、22.898km～23.751km の約 853m（反町立坑 30m を含む）区間は、ＮＡＴＭで施工されており、営業線直下でかつ周辺に住宅が密集する中で、大きな被圧を受ける帯水砂層と土丹層の互層地山を掘削するという厳しい施工条件下に置かれている。

ＮＡＴＭは、本来、吹付コンクリート、鋼製支保工、ロックボルトなどを主な支保部材として山岳部に適用されているトンネル施工法であるが、近年、地表面沈下抑制、切羽・天端安定、湧水処理対策などの種々の補助工法を用い、さらにトンネル施工の安全性や力学的な安定性および周辺への影響把握のために計測を併用することで、都市部での適用事例がかなり多くなっている。



（平成 14 年 3 月　追記・修正）